

平成30年度 実施事業報告

1. 振興対策事業

北九州港の整備及び振興対策について、情報提供に努め、民間の立場から施策を提案した。

(1) みなと振興懇談会

北九州港・空港の整備や振興対策、今後の課題等について、当協会正副会長と北九州市港湾空港局幹部職員で意見を交換した。

- 時 期 平成31年2月15日
- 場 所 プレミアホテル門司港
- 参加者 18人

(2) 北九州港港湾調査データ作成業務（通年）

港湾事業者等から提供された申告書を規定フォームへ入力し、統計法に基づく港湾統計データを集計した。（北九州市からの受託事業）

2. 啓発宣伝活動事業

年間を通じて、様々な啓発宣伝活動を実施した。

(1) 北九州港セミナー

荷主、船社等の北九州港のユーザーを対象に、北九州港のPRと、一層の利用促進を目的に、北九州市及び関係団体との共催で、東京において、セミナーを開催した。

- 時 期 平成30年10月31日
- 場 所 経団連会館
- 参加者 550人

(2) 海外ポートミッション

海外の港湾施設と活動状況等の調査・研究のため、視察研修を実施した。

- 時 期 平成30年10月15日～19日 4泊5日（機内泊含む）
- 場 所 ニュージーランド（オークランド）
- 参加者 35人

(3) 記念品の製作・販売及び頒布（通年）

北九州港のPRを促進するため、北九州港のシンボルマークやマスコットキャラクター「スナQ」をデザインした記念品等を製作・販売し、イベント等で頒布した。

記念品 種類	ポロシャツ、フリース、チャーム、ネクタイ、ハンカチ、付箋、 缶バッジ、ボールペン等
-----------	--

(4) 歓迎訪船（通年）

北九州港への初入港船や定期航路開設第一船等を、北九州市と共同で歓迎訪船し、北九州港のPRと国際親善に努めた。

月日	船名	船籍	トン数	船社
4/9	OKEE ALBA	リベリア	18,283	マースク
4/16	帆船「みらいへ」	日本	230	一般社団法人 グローバル人材育成推進機構
5/19	WAN HAI 203	中国	17,134	WANHAI
7/9	ACACIA TAURUS	パナマ	5,658	STAR OCEAN
7/11	ながら	日本	7,390	井本商運
11/28	練習船「広島丸」	日本	234	独立行政法人 国立高等専門学校機構 広島商船高等専門学校
12/18	SITC HONGKON	パナマ	9,531	SITC
3/26	琉球エクスプレス	日本	10,329	マルエフェリー(株)

(5) 北九州ポート・アテンダントの活動（通年）

各種式典、セミナー、イベントの司会や歓迎訪船の花束贈呈などを通じて北九州港をPRした。

■ 活動回数 27回（33人）

(6) 北九州港オリエンテーション

港湾業務の基本を学ぶため、会員企業の新入社員等を対象に、港湾や貿易などに関する研修講座と太刀浦コンテナターミナルなどの港湾施設の見学を実施した。

■ 時期 平成30年4月26日、27日

■ 場所 [基礎講座] プレミアホテル門司港

[視 察] 陸上 太刀浦コンテナターミナル、倉庫、旧大連航路上屋
海上 西海岸、砂津・日明地区、戸畑、響灘地区
ひびきコンテナターミナルなど

■ 参加者 181人

(7) 港湾整備事業説明会

北九州港整備事業、将来計画等について、海運・港湾企業を対象に、国土交通省九州地方整備局、北九州市が直接説明する事業説明会を開催し、最新の情報及び今後の取組等を情報提供した。

■ 時 期 平成30年6月19日

■ 場 所 KMMビル 4階 「大会議室」

■ 参加者 122人

(8) 港湾セミナー

会員企業や市民を対象に、港湾や物流、経済をテーマにしたセミナーを開催した。

■ 時 期 平成31年1月12日

■ 場 所 KMMビル 4階「大会議室」

■ 参加者 67人

■ テーマ及び講師「リーダーシップの重要性～トップリーダーを育てて～」

北九州市スポーツ大使 植木 通彦 氏

(9) 北九州市からの受託事業

北九州港の役割や海辺の魅力などを市民に周知するため、様々なイベントを通して積極的な情報発信を行った。

①ひびきへのクルーズ船寄港時全体管理・運營業務

ひびきコンテナターミナルにクルーズ船が寄港する際に以下の業務を行った。

- ・クルーズ船受入れにかかる事前事務及び連絡調整
- ・クルーズ船寄港時の受入対応本部の運営及び連絡調整
- ・クルーズ船寄港時の緊急対応及び連絡調整

月日	船名	船籍	トン数	船社
4/25	コスタ・セレーナ	イタリア	114,147	コスタ・クルーズ（伊）
5/23	チャイニーズ・タイシャン	リベリア	24,427	渤海クルーズ（中）

5/30	ノルウェージャン・ジョイ	バハマ	167,725	ノルウェージャン・クルーズ・ライン(米)
6/1	コスタ・フォーチュナ	イタリア	102,669	コスタ・クルーズ(伊)
6/8	ノルウェージャン・ジョイ	バハマ	167,725	ノルウェージャン・クルーズ・ライン(米)
6/27	オペーション・オブ・ザ・シーズ	バハマ	168,666	ロイヤルカリビアン・インターナショナル(米)
6/29	ノルウェージャン・ジョイ	バハマ	167,725	ノルウェージャン・クルーズ・ライン(米)
7/6	コスタ・セレーナ	イタリア	114,147	コスタ・クルーズ(伊)
7/11	ノルウェージャン・ジョイ	バハマ	167,725	ノルウェージャン・クルーズ・ライン(米)
7/27	ノルウェージャン・ジョイ	バハマ	167,725	ノルウェージャン・クルーズ・ライン(米)
8/3	オペーション・オブ・ザ・シーズ	バハマ	168,666	ロイヤルカリビアン・インターナショナル(米)
8/8	コスタ・セレーナ	イタリア	114,147	コスタ・クルーズ(伊)
8/17	コスタ・フォーチュナ	イタリア	102,699	コスタ・クルーズ(伊)
9/19	スーパースター・ヴァーゴ	バハマ	75,338	スタークルーズ(香港)
11/2	コスタ・セレーナ	イタリア	114,147	コスタ・クルーズ(伊)
11/30	コスタ・セレーナ	イタリア	114,147	コスタ・クルーズ(伊)
3/1	クイーン・メリー2	英国	151,400	キュナード・ライン(英)

②クルーズ船寄港時全体管理・運營業務

英国の豪華クルーズ船「クイーン・メリー2」が平成31年3月1日、北九州港に寄港した際の全体管理・運營業務を市から受託した。

■ 時 期 平成31年3月1日

■ 場 所 ひびきコンテナターミナル

■ 寄港観光ツアー 全7コース中5コースが北九州市内を観光

■ 市民見学会 船内見学…50人(応募総数2,933人)

洋上外観見学…58人(応募総数416人)

■ 主なイベント

入港時…歓迎演奏(若松中学校 吹奏楽部)・市消防艇による歓迎放水

出港時…お見送り演奏(八幡東ねぶたまつり、若松五平太ばやし)、花火の打上げ

日本文化体験おもてなし、ステージイベント、記念楯など無料配布、物品販売など

■ 来場者 約11,000人

③門司・西海岸へのクルーズ船寄港おもてなし等業務

クルーズ船寄港による港周辺の賑わいづくり及び北九州市の魅力乗客等へ広くアピールすることを目的とした、入出港時の歓送迎イベント及びおもてなし、歓迎式典の実施した。また、クルーズ船誘致を目的としたクルーズセミナー等を開催した。

月日	船名	船籍	トン数	船社
4/14	シルバー・ディスカバラー	バハマ	5,218	シルバーシー・クルーズ(モナコ)
4/21	シルバー・ディスカバラー	バハマ	5,218	シルバーシー・クルーズ(モナコ)
5/16	ロストラル	フランス	10,700	ポナン(仏)
6/4	ロストラル	フランス	10,700	ポナン(仏)
6/11	にっぽん丸	日本	22,472	商船三井客船(日)
8/10	グローリー・シー	バハマ	25,494	ダイヤモンド・クルーズ(中)

④北九州港・みなとまちづくり事業

北九州港の魅力を様々なイベント等を通じて広く市民に周知するとともに、人々が集い、賑わう海辺づくりを図った。

ア 船舶公開業務

市民に海や港への理解を深めてもらうため、北九州港(門司区西海岸)に独立行政法人海技教育機構練習船(帆船)を招聘し、船舶一般公開を行なった。

独立行政法人海技教育機構「銀河丸」等を招き、市民に船内を一般公開して、海・港・船について理解を深めた。

■ 時期・行事内容・参加者

平成30年5月25日	入港、表敬訪問	150人
平成30年5月26日	シップスクール、歓迎訪船	23人
平成30年5月27日	一般公開	2,200人
平成30年5月29日	出港・登舷礼	200人

■ 場 所 門司区西海岸

イ 寄港記念イベント等業務

北九州港に寄港する独立行政法人海技教育機構所属の練習船に対し、寄港記念イベント等を実施して、歓迎の意を表するとともに北九州港をPRする。

■ 独立行政法人海技教育機構等の歓迎訪船一覧

月日	船名	船籍	トン数	船社
4/12	練習船「大成丸」	日本	3,990	独立行政法人 海技教育機構
4/16	帆船「みらいへ」	日本	230	一般社団法人 グローバル人材育成推進機構
5/26	練習船「銀河丸」	日本	6,185	独立行政法人 海技教育機構
6/1	練習船「青雲丸」	日本	5,890	独立行政法人 海技教育機構
10/23	練習船「銀河丸」	日本	6,185	独立行政法人 海技教育機構
11/1	練習船「大成丸」	日本	3,990	独立行政法人 海技教育機構
11/28	練習船「広島丸」	日本	234	独立行政法人 国立高等専門学校機構 広島商船高等専門学校
2/14	練習船「大成丸」	日本	3,990	独立行政法人 海技教育機構

⑤北九州港マスコットキャラクター「スナQ」を活用した広報活動

インターネットを使った情報発信、市内イベントへの着ぐるみ出演及びイラスト等を活用した北九州港広報用ツールの作成等により、北九州港のイメージアップを図った。

(10) クルーズ船寄港定着化事業

北九州港へのクルーズ船寄港の定着化を図るため、九州クルーズ振興協議会に加入し、北九州市と共に客船の誘致活動を推進した。

また、下関港と連携した「関門港クルーズ振興協議会」の事務局を担当するとともに、関門港に寄港するクルーズ船を利用した旅客等に対する観光資源の情報発信事業等を行い、クルーズ振興を行った。

(11) みなと見学会の実施

①みなと見学会

子供から大人までの幅広い層の市民を対象に、市民生活を支える物流拠点としての北九州港の役割や、港と日常生活とのつながりの深い倉庫の役割を理解してもらうことを目的にみなと見学会を実施した。

- 時 期 平成30年8月23日
- 場 所 北九州市内の港湾施設及び倉庫
- 参加者 28人

②コンテナターミナル見学会

市民、学校、企業みなさんに「港」を身近に感じてもらうために、また、「港」の役割や私たちの生活に深く関わりのある「物流のしくみ」を知ってもらうために、太刀浦コンテナターミナルの施設見学におけるプレゼンテーション及びバスガイド業務を行った。

活動回数及び人数 計14回 200人

(12) 「海の日」協賛会

「北九州海の日協賛会」の事務局として、海洋海事思想の普及と市民と海・港とを結ぶ各行事を実施した。主な行事は、関門港ポート天国、海事功労者表彰式典、みなと見学会、海の写真展など。

■ 行事一覧

行 事 名	実 施 時 期
巡視船体験航海・展示訓練	5月25日、26日
船員・港湾作業員慰問	7月 1日～31日
船員留守宅家族慰問	7月10日～31日
海上航行安全祈願	7月10日
殉職船員慰霊祭	7月10日
門司・洞海海洋少年団市中パレード	7月15日（門司）、7月21日（洞海）
ウォーターフロントクリーンナップ作戦	7月15日、21日ほか（通年）
関門港ボート天国	7月15日
シーサバイバルトレーニング体験会	7月15日
汽笛吹鳴	7月16日
海の写真展	7月16日～30日
式典、海事功労者表彰式	7月18日
海の日歓迎訪船	7月18日
第55回九州・山口地区中学生海の日絵画コンクール	7月16日～7月31日
ミニミニトライアスロン	8月 5日
みなと見学会	8月23日
船員・港湾作業員入院療養者慰問	中止

(13) 花火大会への協賛

くきのうみ花火大会・海峡花火大会を支援した。

港周辺で開催される花火大会に、当協会が管理運営している駐車場を観覧席として提供した。

(14) 海の日・海峡クルージング

「海の日」行事の一環として、大型フェリーによる北九州港及び関門海峡の見学を通じて「みなとのにぎわいづくり」と「海に感謝し港の役割の理解促進を図る」ことを目的とする「関門海峡クルージング」を実施した。

■ 時 期 平成30年7月28日

■ 場 所 阪九フェリー(株)「つくし」内

運航コース；新門司—関門橋—巖流島—西山沖—巖流島—関門橋—新門司

■ 参加者 465人

(15) 定期刊行物の発行（通年）

北九州港に関する最新情報とPRのため、会員及び市民に向けて定期刊行物等を発行した。

①機関誌「北九州港」 年1回 1,000部

②北九州港ニュース 年6回(偶数月) (オンライン)

(16) ホームページによる情報提供（通年）

広く北九州港に関する情報発信とPRのため、ホームページを更新管理した。

3. 港湾関係共益事業

北九州港に必要な船員その他港湾関係者等の休養、福利厚生施設等に関する事業を実施した。

(1) 戸畑船員サービスセンターの管理

海事関係者の利便向上のため、戸畑船員サービスセンターを管理運営した。

(2) 港湾振興協会等事務連絡会へ参加

全国の各港湾に共通する振興事業に関する諸問題を調査・研究し、相互に情報交換することを目的に、当協会及び東京、横浜、大阪、神戸、名古屋、博多、川崎の各振興協会からなる事務連絡会を設けている。開催は、8振興協会の当番制で今年度は川崎市で開催した。

■ 時 期 平成30年11月8日～9日

■ 場 所 [会 議] 川崎市港湾振興会館

[視 察] 川崎視察、巡視船「あおぞら」乗船等

■ 参加者 23人

■ 参加団体 一般社団法人横浜港振興協会、名古屋港利用促進協議会、
一般社団法人博多港振興協会、一般社団法人神戸港振興協会、
一般社団法人東京都港湾振興協会、公益社団法人大阪港振興協会、
公益社団法人川崎港振興協会、一般社団法人北九州港振興協会

(3) 交流サロンの開催

協会役員、会員相互の交流を図るため、企業視察と交流会を開催した。また、協会会員の若手社員相互のコミュニケーションを深めるため、企業視察と交流会を開催した。

①役員、会員交流サロン

■ 時 期 平成30年11月22日

■ 視 察 大分港（大在コンテナターミナル）、サッポロビール九州日田工場

■ 懇親会 サッポロビール九州日田工場

■ 参加者 30人

②若手社員交流サロン

- 時 期 平成31年2月21日
- 視 察 株式会社スターフライヤー トレーニングセンター
北九州空港貨物及び旅客ターミナル
- 懇親会 アルカディア小倉
- 参加者 46人

(4) 国際交流、ビジネス支援事業ほか

①国際化に対応する企業人を育成するため、会員企業を対象に海外展開支援セミナーを開催した。(北九州商工会議所と共同事業)

- 時 期 平成31年3月7日
- 場 所 毎日西部会館 9階 「ホール」
- 参加者 39人
- テーマ及び講師
第1部 テーマ：日EU EPA・TPP11の概要について
講 師：日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部
国際経済課 朝倉 啓介 氏
第2部 テーマ：日EU EPA・TPP11の原産地規則について
講 師：門司税関原産地調査官 三輪 義隆 氏

②タイ王国・レムチャバン港との姉妹港会議開催に係る関係者受入れ業務

北九州港の姉妹港であるレムチャバン港と北九州港との姉妹港会議開催にあたり、関係者6名を受け入れた。姉妹港会議開催や企業視察等の事前調整・実施業務を市から受託した。

- 時 期 平成31年3月18日（月）～3月22日（金）
- 関係者 タイ港湾庁技術部長（レムチャバン港前局長）ほか5人

(5) 新年賀詞交歓会

海運・港運7団体（関門港運協会、小倉地区港運協会、洞海港運協会、八幡港友会、九州水曜会、門司エーゼント会、当協会）の共催で賀詞交歓会を開催した。

- 時 期 平成30年1月16日
- 場 所 ステーションホテル小倉
- 参加者 347人

4. 港内美化事業

未来へきれいな海、海岸を引き継ぐことを目的に、港湾関係団体と共同で清掃活動等を実施した。

①「門司港レトロ地区」クリーンアップ運動

海洋土木専門業者「北九州港湾建設協会」主催の海辺のクリーンアップ運動に参加した。

- 時 期 平成30年6月24日
- 場 所 門司港レトロ地区一帯
- 参加者 211人

②ウォーターフロント・クリーンマナーアップ作戦

未来へきれいな海、海岸を引き継いでいくことを目的に、国土交通省九州地方整備局、北九州市、民間と共同で清掃、啓発活動を実施した。

- 時 期 平成30年7月15日、7月21日
- 場 所 門司・洞海地区
- 参加者 153人（門司地区118人、洞海地区35人）

③海の玄関口クリーンアップ活動

北九州市の海の玄関口「新門司フェリーターミナル」がある門司区で地域・行政・民間企業が連携協力して清掃活動を行った。

・2018夏「(新門司地区)海の玄関口クリーンアップ活動

- 時 期 平成30年8月1日
- 場 所 新門司フェリーターミナル地区一帯
- 参加者 484人

・2018冬「(新門司地区)海の玄関口クリーンアップ活動

- 時 期 平成30年11月28日
- 場 所 新門司フェリーターミナル地区一帯
- 参加者 410人

5. その他の事業

(1) 駐車場事業

当協会の財政基盤の強化を図り、また、海運港湾事業従事者、観光客の利便を確保するため、北九州市用地を借り受け有料駐車場として管理・運営した。

名 称	所在地	収容台数	備 考
新浜駐車場	門司区東港町	25	(一時使用 105 台含む)
西海岸駐車場	門司区西海岸	283	
浅野三丁目駐車場	小倉北区浅野	74	
紫川駐車場	小倉北区浅野	106	
松ヶ島駐車場	八幡東区枝光	21	
妙見駐車場	八幡西区築地町	61	
計		570	